

ひまわり組だより



2020年11月

尚徳福祉会 馬橋保育園

青空が広がる中、【おひさま保育の会】が無事に開催されました。子どもたちは元気に荒馬踊りや竹馬を披露し、最後のリレーも勝ち負けに関係なく、みんな笑顔になっていました。「お父さんお母さんに見てもらいたい!」という願いもかない、大満足のひまわり組さんだったのでないでしょうか。

11月はイモ掘りや父母会主催の楽しいイベントもあります。健康的で文化的な活動を充実させながら、みんなで様々な発見や感動を共有していけるよう心がけていきたいと思えます。

今月のわらい

- 遊びや生活がより楽しく充実するように、友だちと話し合ったり工夫し合ったりしながら進めていく
- 興味を持って秋の自然に関わり、その不思議さを調べたり、遊びや表現活動に取り入れたりする



【おひさま保育の会】こぼれ話

おひさま保育の会の「終わりの言葉」をみんなで考えたときのことです。「さいごまで みてくれて ありがとう」というアイデアが出ると、「あらうまやまつりを さいごまで ちゃんと みてくれて ありがとう」と言葉を付け足す意見がありました。「ちゃんと、って入れるのはいいねえ」「ありがとうございます、にしたほうがいいかな?」と他にも様々な意見が上がりました。子どもたちはいつも言葉ひとつひとつを丁寧に考えていこうとしていて、そんな姿がステキだと思いました。

わずか1週間で大変身!?

ゴム跳びではあまりにも自由に跳び過ぎて、本番1週間前まで列がグチャグチャでした。そこで「トロルの橋」という名の2本線を引いて、「この橋から落ちたら、トロルに食べられるよ」と声かけしたのです。「3びきのやぎのがらがらどん」はおなじみの絵本なので、子どもたちは瞬く間にイメージを共有。「ちゃんと橋の中に並ばなきゃダメだね」と言い合って、本番では見事整列できるようになりました。

「コウモリをカラフルにしたよ」「トリックオアトリート♪ こんな踊りはどう?」

ハロウィン用にコウモリを作り始めた子どもたち。自分で切り抜いた黒や紫色のコウモリに、色とりどりのマーカーで自由に絵を描くのが楽しく、「もっとやりたい!」と何枚も取り組んでいました。そのうち昨年のハロウィンソングを歌いながら踊り始めました。【おひさま保育の会】で披露した「まつり」の振り付けも取り入れながら、自分たちでハロウィンダンスを考えたようです。このように、描いたり歌ったり踊ったりしながら、子どもたちの「表現したい!」という力が育まれていることに喜びを感じました。

11月13日 イモ掘り お弁当のご協力をお願いします

今年は新型コロナウイルスの感染拡大に配慮し、浜田山の農園まで歩いて行きます。かなりの遠出になるので、善福寺川緑地でお弁当を食べて十分に休息を取った上で、元気に帰園したいと思います。合同遠足時のお弁当に引き続き、重ね重ね恐縮ではございますが、ご理解ご協力のほどよろしくお願いします(詳細は後日)

